

# 印刷新報

THE INSATSU SHIMPO

(月・木曜日発行) 第4235号 (昭和33年11月11日 第三種郵便物認可)

発行所 (株)印刷出版研究所  
〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町534川底ビル電話 03(5155)7825  
FAX: 東京03(5155)7930・大阪06(6353)4944  
〒530-0044 大阪府北区東天満2-9-4千代田ビル東館電話06(6353)4866  
年間購読料19,370円(税込)(振替口座 00120-4-47973番)

## 北京会議で収穫と課題

### ISO/TC130 CFP等で新規提案

#### 部会の枠を超え対応急務

ISO/TC130 国内委員会(福田隆文委員長)はJGAS2009の会期2日目にあたる10月7日、東京ビッグサイト会議棟で第14回ISO/TC130(印刷技術)講演会を開催した。社団法人日本印刷産業機械工業会のJapan Color認証制度講演会と合同で実施され、今年9月中国・北京で開催された国際会議の内容を中心に、福田委員長による国内委員会の活動報告のほか、5つの国内ワーキンググループによる細部にわたる解説が行われた。開催に先立ちあいさつした日本印刷産業機械工業会の樋口恭司専務理事は、「北京会議では、わが国からも積極的に提案が行われた。今回の国際会議で特筆すべきは、ISO12647(オフセット印刷標準化)の改定についてであり、これは多くのワーキンググループに関わる議決であり、後に北京会議が印刷業界にとってターニングポイントとなった会議だったと総括されることになるだろう」と述べ、今後急速に加速する国際的な印刷技術の標準化に日本からさまざまな提案がなされることを期待した。

ISO/TC130 国内委員会(福田隆文委員長)はJGAS2009の会期2日目にあたる10月7日、東京ビッグサイト会議棟で第14回ISO/TC130(印刷技術)講演会を開催した。社団法人日本印刷産業機械工業会のJapan Color認証制度講演会と合同で実施され、今年9月中国・北京で開催された国際会議の内容を中心に、福田委員長による国内委員会の活動報告のほか、5つの国内ワーキンググループによる細部にわたる解説が行われた。開催に先立ちあいさつした日本印刷産業機械工業会の樋口恭司専務理事は、「北京会議では、わが国からも積極的に提案が行われた。今回の国際会議で特筆すべきは、ISO12647(オフセット印刷標準化)の改定についてであり、これは多くのワーキンググループに関わる議決であり、後に北京会議が印刷業界にとってターニングポイントとなった会議だったと総括されることになるだろう」と述べ、今後急速に加速する国際的な印刷技術の標準化に日本からさまざまな提案がなされることを期待した。



日印機工の樋口専務 技術の活用を視野に入れた提案内容が圧倒的多数の賛同を得て採決



ISO/TC130講演会のもよう(7日、東京)

採択された印刷に関する国際標準の主な新規提案は次のとおり。

- ①セキュリティに関する印刷プロセスのマネジメント(第376号議決)
- ②製本工程の用語統一化(第377号議決)
- ③カーボンフットプリントに関する印刷業界の規格づくり(第378号議決)

これら新規提案を受け福田委員長は、「現在の国内ワーキンググループの枠組みでは対応できない事項を含むため、早急に日本の基本的な考え方をまとめ、それに対応した体制を検討し、来る審議に備える必要がある」と言及した。

また、今回の国際会議では、開催国である中国が多量の提案を行っていた現状に触れ、「参加各国は、国際標準を定めるにあたって主導権を握ろうと率先して新規提案を

## 就活 説明会に80人 世界の魅力アピール

10日、JGAS開催に合わせた学生向けの就職説明会を東京ビッグサイト会議棟で行った。予想を上回る80人以上の学生が詰めかけた。

菅野潔教育事業委員長は「展示会を見てイメージがつかめたと思うが、印刷業界は相当変化している。その変化をどう受け止めるか、どう対応するか、



大日本印刷 小ロット書籍に対応  
輪転で1500部から

大日本印刷株式会社 狙った。

新ラインでは、一貫製造とともに最短距離で製品を多量生産する。また、印刷する絵柄を分析してインキの投入量を自動制御する。また、印刷する絵柄を分析してインキの投入量を自動制御する。

ドルチェ・マーケティン

顧客にブランド体験を届けるファンづくりDMプロデュースを軸としたドルチェ・マーケティン株式会社(佐藤靖子社長、東京都渋谷区)は、女性による「こだわりの質×エコ印刷」のオンラインサービス「こだわりのプリントコム」(http://ww.kodawari-print.co.jp)のサービスを開始した。

オンライン印刷サービス開始

小規模事業者の販促支援

社・アインズ株式会社をパートナーとして、ドルチェ・マーケティン株式会社により運営される高付加価値オンライン印刷サービス。コミュニケーションの割が求められていることを背景に企画された。小規模事業者でも手軽に顧客満足度の高いコミュニケーションを実現できる「単品販売」。「こだわりのパック」は、A4リーフレットや定形

デジタル化や嗜好の多様化が進む中、印刷物も単なる情報伝達ツールから、顧客との絆を深めるツール、他社との差別化を図るツールとしての役割を深める。先行サイトでのテストを9月から実施をもちに、9月から

ポストカード(はがき)、7点セットにし、1000部/5万9800円(税別)から制作できるサービス。単品販売は、



「こだわりのプリントコム」サイト

A4リーフレット、A4ポストカード200部、定形ポストカード(はがき)900部等を5万9800円(税別)から制作できる。テンプレートは、イラストレーターのほかワードでも用意し、一般の印刷発注者でも気軽に利用できる。デザイン制作も別途費用で受け付けている。

「こだわりのプリントコム」は、ハイデルベルグ・ジャパンの「プリントバイヤプロジェクト」のサポートで運営している。実際の印刷はアインズ(滋賀県近江八幡市)に行われ、ハイデルベルグ社の極小ロット対応印刷機「アニカラー」を使って100部からの小ロットで製作する。損紙を極限まで削減することも、竹尾の協力で特に環境にやさしい紙を揃えており、エコ印刷にこだわっている。

今回のJGASは、最良したシステムが多く見大ブリスのホリゾン・イラれた。性能では、省電力やコストの削減を期待したものが多かったというよりも、印刷会が操作パネルの操作性が向上したことが目立った。また、作業上のロスも目立って減少した。各社の出展内容も、CIP4/JDFによる印刷も多かった。印刷工程からの連結、デジタルプレスとのリンクをパッケージまでの一貫生産な図ったものが多く見られ、異なるメーカーのシ

トプレスからの改革

システムの長所を組み合わせ、緩じ、断裁いずれも検査装置を備えている機械が多かった。後工程だけでなく、バーコードやCCDカメラ、金属探知機などで印刷工程のミス

前工程との連携が進化

素材の提案といったことが行われた。針金の代わりに糊を使った中綴じやカレンダー製本に、ペーパーリンクを使用したもの、DMカタログの小口部分をテープで貼るといった新機軸の提案も行われた。

今回のJGASでは、パリアフル印刷との連携などさらに進んだ提案が少なからず見られ、デジタルプレスと、それに伴うビジネスモデルの構築が期待されている。CIP4/JDF搭載機種はますます増え、印刷工程から断裁データを送り、作業性を高めるなどの提案も行われた。

ck 09 第2回 者の点描



ブースで提案を行ったインターナショナル

性能を備えたマシンが数

日本アグファ・ゲバルト株式会社(松石浩行社長)は10月6日、東京・有明の東京ビックサイト会議棟で「第21回・Apogee User会」を開催した。

独白

冒頭、鶴田毅会長(タイコ代表取締役会長)が「リーマンショックに端を発する劇的な変化の時期でなくとも、常に経営の目的や方向を問い直して